

統計トピックス

10月 7割以上が少子化に危機感 少子化対策に関する特別世論調査

内閣府が4日に公表した世論調査によると、アンケート回答者の76.6%が低い出生率に危機感を感じており、その影響としては「社会保障に対する影響」71.9%、「経済活力に対する影響」50.6%があげられました。

また、少子化対策で政府に期待する政策として、「仕事と家計の両立支援と働き方の見直しの促進」51.1%、「子育てにおける経済的負担の軽減」50.5%、「子育てのための安心、安全な環境整備」41.7%となりました。

しかし、「欧米諸国で効果のあった施策を日本でも取り入れるべき」33.2%、「欧米諸国との施策を日本で行っても効果はない」32.2%という結果もでており、今後難しい政策運営が求められる結果となりました。

11月 新札発行あれこれ

1日、20年ぶりに1万円札、5000円札、1000円札のデザインが一新されました。その中でも新5000円札の肖像には「樋口一葉」が登場し、日本銀行券で初めて女性が採用されました。(注 女性の肖像としては、明治期の政府紙幣に神功皇后を採用。2000円札の裏面の図柄として紫式部が採用されている。)

新札発行の背景として、平成10年には1年間で807枚であった偽造1万円札が、平成14年には2万枚を越え、実に5年間で25倍以上となると同時にその精巧さも増したことがあげられます。

また、民間シンクタンクの試算によると新紙幣発行によって1兆円近くのGDP押し上げ効果があるとの試算もされており、消費に対する心理的な影響や新札特需も期待されています。

12月 中国からの留学生、大幅増加 留学生受入の概況 (平成16年版)

文部科学省の調査によると平成16年5月1日現在の留学生は117,302人となり、初めて11万人を超えたことがわかりました。その内訳として最も多いのが中国からの留学生で全体の66.3%にあたる77,713人となり、前年に比べて6,899人(9.7%)の大幅な増加となっています。

また、アジア全体からの留学生数は総数の93.4%を占め、アジア諸国と日本の緊密なつながりの深さを感じさせる結果となりました。

ちなみに、男女の比率は男50.8%、女49.2%とほぼ同等。専攻分野別では社会科学34.6%、人文科学24.0%、工学13.1%という順番でした。